

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第2回坂戸市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和6年10月11日(木) 開会：午後2時00分 閉会：午後3時05分
開 催 場 所	坂戸市役所 201会議室
議長(委員長)	横田 政行
出 席 者	北原 文子、菅原 繁子、石橋 妙子、本橋 一夫、 金丸 行男、市川 なお美、三宅 裕美子、田中 映子、 鹿ノ戸 久美子、久保田 美穂、杉田 義昭、加藤 拓、 小川 孝、横田 政行 14名出席
欠 席 者	田中 孝次 1名欠席
事 務 局	太田教育長、三田教育委員会事務局部長 仲島教育委員会事務局次長兼スポーツ推進課長 菅野社会教育課長、神社会教育課課長補佐 瀧嶋社会教育課主任 6名出席
会 議 次 第	別紙のとおり
配 布 資 料	別紙のとおり

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司会(事務局)	1 開 会
委員長	2 あいさつ 今年、坂戸市卓球連盟でホームページを立ち上げたので、検索すると、御覧いただけるようになっている。ホームページを立ち上げるのには、経費や維持管理などの負担も大きく、いろいろな意見があったが、1.5倍くらい参加者が増えている。坂戸市外の方からも参加いただいております、ホームページの力はすごいと改めて感じている。

<p>教育長</p>	<p>ホームページの活用等、積極的に取り入れていくことはこれから重要になると思う。ホームページから申込み等ができるようになると、便利になると思う一方、ご高齢の方にとっては難しいのではないかという問題点も考えられる。しかし、行事の申込みや会議等、インターネットの力も取り入れて進めていくことも大切なのではないかと考えている。</p> <p>委員の皆様には御多用のところ、第2回社会教育委員会会議に御参加いただき、ありがとうございます。</p> <p>10月に入り、本年度も折り返しを過ぎ、社会教育関連事業も順調に進んでいる。</p> <p>4月に公民館が地域交流センターに移行し、初めてとなる市民体育祭が行われた。天候の関係で実施できないところもあったが、内容を見ると、対抗種目は減少したが、人とのつながりを意識した種目が各地区で工夫し実施されていた。親子でのつながりなど、地域のつながりを重要視し、市民体育祭がより良いものになるよう各地域交流センターで見直しをしながら実施しているようであった。</p> <p>本日は、協議事項として、「坂戸市職員出前講座について」を挙げさせていただいたが、毎年実施しているが、活用につながらないところもあるので、本日の会議で委員の皆様から積極的な御意見をいただき、より良いものになりたいと考えている。</p> <p>今後とも、様々な面で、より良いものを事務局としても提案したり、皆様の意見をお聞きしたりしながら実践に向けて取り組んでいく。</p> <p>本日はよろしく願います。</p>
<p>事務局（司会）</p>	<p>3 資料の確認</p> <p>「社会教育委員会規則第3条」の規定により、ここからは委員長に議長をお願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>4 諮問（社会教育関係団体に対する補助金の交付について）</p> <p>(1) 令和7年度社会教育関係団体補助金交付について</p>

<p>事務局 (議長：委員長)</p>	<p>5 審議事項 諮問書を、太田教育長から横田委員長へ手交（社会教育法第13条により） (1) 令和7年度社会教育関係団体補助金について (資料1に沿って説明) 社会教育法第13条に「地方公共団体が社会教育関係団体に対して補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない」と規定されているため、今回、社会教育団体から要望のあった令和7年度要望額を報告するとともに、補助金の交付について御審議をお願いするものである。 本事業で交付する補助金は、「市民が主体となって青少年の健全育成に対する環境を整え、子どもたちの成長に必要な様々な体験活動が行われること」を目的に、「青少年の健全育成活動や、子どもたちの様々な体験活動を実施する社会教育関係団体を補助」するものである。 今年度補助金を交付する4団体に対し、令和7年度補助金の希望を確認したところ、いずれの団体においても補助金を希望するとの意向があった。 補助金額については4団体に対し合計23万円となっており、令和7年度の希望額は、ボーイスカウト坂戸第1団及びボーイスカウト坂戸第2団がそれぞれ令和6年度の補助額から3万円の増額で、5万円の希望となっている。そのほか、坂戸市PTA連合会、ガールスカウトについては、今年度と同額である。 ボーイスカウト坂戸第1団からの増額理由については、坂戸第1団内でカブスカウトとの合同夏季キャンプを予定していることから、今回、増額を希望することである。 ボーイスカウト坂戸第2団からの増額理由についても、同じく団キャンプを予定しており、年々、物価高騰等により支出額が増えていることから、支出額の半分程度の補助をいただきたい」と、今回、増額を希望することである。 補助金の交付が適切であるのご審議をいただけたら、令和7年度予算要求を行っていききたい。</p>
<p>委員</p>	<p>坂戸市PTA連合会について、脱退した学校があると聞いたが、坂戸市のPTAの現状を伺いたい。学校の状況はどうなっているか。</p>

委員	<p>各学校のPTAの活動については、各校で考えて活動していく方向を決めている。</p> <p>岡山県内のPTAが8割くらい脱退したというニュースもあり、坂戸市だけではなく、全国的に同様のことが起こっているようだ。</p> <p>前任の市では、9校ある小学校と中学校のうちの約半分がPTAではなく、「保護者の会」として活動していた。共働き家庭が増加し、会議などの活動への負担の声が挙がり、PTAという形にこだわらず、目の前の自分たちの子どものためにできることをしよう、その活動のために保護者の会を立ち上げよう、という形をつくり活動していた。</p> <p>例えば、学校の中の除草作業、水やり等の環境美化活動への協力といった活動については熱心に取り組んでいただいていた。</p> <p>坂戸市内でPTAから脱退した学校についても同様に、保護者の協力体制はあると聞いている。</p> <p>PTAから脱退した学校に限らず、それぞれの学校が「参加して良かった」「子どもたちのためになった」と思えるような活動を目指しており、保護者の方もそれぞれに課題意識を持ちながら取り組んでくださっていると思っている。</p>
事務局 (社会教育課)	<p>坂戸市としても、PTA活動は重要であると思っている。</p> <p>PTAへの任意加入、役員を選出等について、各校とも入学説明会などで説明いただいているが、それに伴う問合せや意見なども事務局にいただくことは多い状況である。</p> <p>共働きの家庭が増え、PTA活動に係る時間がなくなってきているということが現実だと考える。</p> <p>市としては、PTA活動における保護者の方の協力はとても大切であると考えている。PTAがなくなった学校に関しても情報共有を行っており、「学校応援団」としてPTAに代わる活動が行われているようである。各校に学校・保護者が連携するPTAがある状況は継続していきたいと考えている。</p> <p>今後のPTAの在り方については、御意見をいただきながら検討していきたいと考えているので、御理解をいただきたい。</p>
委員長	補助金について、御意見等があればお願いしたい。
委員	特になし

<p>委員長</p>	<p>御意見等がないようなので、「令和7年度社会教育関係団体への補助について」は適切であるとしてよいか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし</p>
<p>事務局 (社会教育課)</p>	<p>6 協議事項 (資料2に沿って説明)</p> <p>坂戸市職員出前講座とは、「市民との協働のまちづくり」の推進のため、市民の学習機会の拡大、市政への理解等を目的とし、市民の学習会などに市の職員が講師として伺い、市政の説明や職務上習得した専門的知識・技能の提供を行うものである。</p> <p>各課から提出された講座の企画書をまとめたものが「令和6年度坂戸市職員出前講座」のパンフレットである。このパンフレットは、坂戸市のホームページに掲載しているほか、地域交流センター等の市内公共施設や小中学校、区長会へも配布している。</p> <p>毎年行っている事業であるが、課題として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、各課に講座内容の企画を依頼しているが、既存のメニューをそのまま使用する課が多く、ほとんど変わりのない講座内容となっている ・申込が多い講座、全く申込のない講座など偏りが出ている ・コロナ前と比較し、出前講座の実施件数、受講者数が減少している <p>といったことが挙げられる。</p> <p>このような課題や、現在の実施状況をふまえ、市民の様々な学習機会に努め、市民の生涯学習をさらに充実させるため、社会教育委員の皆様から御意見をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>内容がずっと同じであっても、内容が充実したものであれば申込みがあると思う。</p> <p>加えて、「出前講座の実施件数、受講者数が減少している」とあるが、ある程度、組織としてある部分に訴えかけていけないといけないのではないかと。</p> <p>例えば、地域交流センターでサークルを行っている方々に「出前講座というものがあるので、皆様の研修にいかがです</p>

委員	<p>か」という訴え方もできるのではないかと。また、ホームページ以外にも採用してもらえそうな方策を考えてみてもよいのではないかと。内容よりも、アピールの方向性を考えていくことを提案する。</p> <p>私自身が所属する団体では、出前講座を定期的に活用している。会員の相互研修ということで、会員の意識を高めるために、5年くらい前から始めた。1度出前講座を活用すると、出前講座の良さが分かり、リピーターも増えていくと思う。出前講座を活用するきっかけとして、ターゲットをしばって、こまめにPRする方法が非常に重要であると思う。</p>
委員長	<p>社会教育委員の中で、出前講座を受講したことがある方はいるか。</p>
委員	<p>出前講座の講師の立場からは、出前講座を実施すると、喜ばれることが多いので、受講した方の声が市民に届けばもっと広がっていくのではないかと。しかし、子ども会などの組織がだんだん減少しているため、リピート率が減っていていることも事実であることから、出前講座を広める方法を考えていくとよいのではないかと。</p>
委員	<p>民生委員をやっており、介護保険について等の出前講座を受講したことがある。出前講座というものは知っているが、出前講座のパンフレットを持っているのは役員の方で、一般の民生委員の方は知らないと思う。組織の代表者へ「出前講座を利用しましょう」とPRしていただきたい。講座の時間が30分～1時間程度であると、会議等に入れることもできる。</p>
委員	<p>受講者として利用させていただいている。今の時代の動きについて、要望しているとの声が挙がり、最近だと、北坂戸地区の都市計画や、健康面のアンチエイジングについて受講した。こちらの要望することにも講師の方によく対応していただいた。その道のプロの方ということもあり、「受講して良かった」と感じる。</p>
委員	<p>出前講座のパンフレットを地域交流センターに置く、あるいは広報さかどに折り込むといった方法はとっているか。</p>

<p>事務局 (社会教育課)</p>	<p>地域交流センターに置かせていただいている。広報さかどへの折り込みはしていないが、広報さかどに記事として掲載している。</p> <p>小学校に歴史民俗資料館から実際に土器を持って行き、社会の授業の中で出前講座を実施することもある。ただし、市内の全小学校で実施されていないので、PRなど工夫が必要だと感じている。各団体へのPRなど、参考にさせていただけたらと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>出前講座のパンフレットが地域交流センターに置いてあっても、実際に手に取って見る機会は少ない。例えば、団体の会合等に「会議の中に出前講座を入れてみませんか」と口頭で紹介していけばもっと広がっていくのではないかと思う。</p>
<p>事務局 (社会教育課)</p>	<p>例えば、地域交流センターで年度末に実施される、定期利用団体への説明会に参加し、サークルや活動団体へパンフレットを配布したり、出前講座のPRをすることも1つの方法である。</p>
<p>委員</p>	<p>坂戸市の生活支援コーディネーターとしても活動している。各町内会や自治会の高齢者サロンや、地域包括地区の高齢者サロンで出前講座を活用するように助言することができると感じた。</p>
<p>事務局 (社会教育課)</p>	<p>社会教育課としても高齢者サロン等、あらゆる機会を捉え、出前講座のPRをしていけたらと思う。</p> <p>委員の皆様から貴重な意見をいただき感謝する。</p>
<p>事務局 (社会教育課)</p>	<p>7 報告事項</p> <p>(1) 第2回坂戸のまっりの開催について (事業計画) (資料3に沿って説明)</p> <p>令和6年11月10日(日)、8年ぶりに坂戸のまっりを開催する。文化会館から駅前のサンロードまでを午前11時から通行止め、また、午後4時から坂戸駅北口ロータリーを通行止めとし、午後5時から山車(9台)に坂戸駅前に集ってもらい、それぞれのパフォーマンスをすることになっている。今回の坂戸のまっりは、市内の伝統芸能の30</p>

<p>事務局 (社会教育課)</p>	<p>を超える団体に御協力いただき開催する。</p> <p>また、今年度、「伝統芸能の継承」について、社会教育課として大切に取組んでいる。その中で、多くの子どもたちに御参加いただけるように、子どもたち向けのスタンプラリーを作成した。スタンプラリーに使用するハンコは、市内中学校の美術部の皆さんに御協力いただいた。美術部の皆さんに作成していただいたスタンプを各場所に設置し、子どもたちに押しってもらう。</p> <p>併せて、午前11時30分からのオープニング及び午後5時からの合同曳っかわせでの司会を小学6年生にお願いすることになっている。</p> <p>社会教育委員の皆様にもぜひ御覧いただきたい。</p> <p>(2) 令和6年度少年の主張大会応募状況結果について (資料4に沿って説明)</p> <p>小学生の部、中学生の部、高校生・一般の部という3部門で応募をいただいた。3月中に各学校をまわり、PRをしてきたが、来年度以降も引き続きPRの方法を考えながら進めていく。</p> <p>小学生の部については、夏休みの宿題が選択制となっているため、応募数にばらつきがみられる。</p> <p>中学生の部については、少年の主張に近い内容を授業で取扱うことから、応募が多くなっている。</p> <p>少年の主張大会令和6年11月16日(土)午後1時30分から、入西地域交流センターにて開催する。</p> <p>社会教育委員の皆様にもぜひ御参加いただきたい。</p>
<p>事務局 (社会教育課)</p>	<p>(3) キッズ★マネースクール開催結果について (資料5に沿って説明)</p> <p>昨年度、青少年育成坂戸市民会議の中で、「親子で参加できる研修があるとよい」との意見が出たことから、今年度初めて、明治安田生命に講師を依頼し、令和6年8月1日(木)に入西地域交流センターで開催した。19組の親子に御参加いただき、お金について学んだ。</p> <p>今後、青少年坂戸市民会議の中で反省等をふまえながら来年度も違う形で進めていく。</p>
<p>事務局 (社会教育課)</p>	<p>(4) 第27回坂戸市埋蔵文化財出土品展の開催結果について (資料6に沿って説明)</p>

	<p>令和6年7月31日（水）から8月6日（火）の7日間、坂戸市文化会館ふれあの2階ギャラリーA、Bにて坂戸市埋蔵文化財出土品展を開催した。</p> <p>前年度発掘された発掘物を市民の皆様に見て、知ってもらうことを目的に毎年開催している。</p> <p>今年度、参加者数が641名であり、学芸員の活動が広がっていると考えられる。</p> <p>活動の一環として、入西地域交流センターに、入西地区で発掘された土器等を並べている。今後、各地区で発掘された特色あるものを各地区の地域交流センターに置く準備を進めている。</p>
<p>事務局 （社会教育課）</p>	<p>(5) 令和6年度子ども大学にしているまの結果について （資料7に沿って説明）</p> <p>小学4年生から小学6年生までの坂戸市と毛呂山町の児童を対象とし、城西大学、明海大学、日本医療科学大学の3大学に御協力をいただき、子ども大学にしているま実行委員会として進めている。</p> <p>城西大学で実施した『超低温の世界～-196℃のバナナは釘が打てる～』では、実際に体験することができ、子どもたちも普段はできない観察や実験を楽しんでいた。</p>
<p>事務局 （社会教育課）</p>	<p>(6) 坂戸市人権教育推進協議会・青少年育成坂戸市民会議合同講演会の結果について （資料8に沿って説明）</p> <p>令和6年9月26日（木）午後1時30分から、入西地域交流センターにて、北野大先生をお招きし、御講義をいただいた。御参加いただいた多くの方から好意的な御意見をいただいた。</p> <p>今年、人権教育として「こどもの人権」をテーマに設定した。坂戸市人権教育推進協議会において、毎年1つのテーマを取り上げて今後も進めていく。</p>
<p>事務局 （スポーツ推進課）</p>	<p>(7) 第20回坂戸市長旗関東還暦軟式野球大会の結果について （資料9に沿って説明）</p> <p>令和6年9月14日（土）から、本来であれば9月19日（木）まで開催される予定であったが、9月18日（水）準々決勝第2試合終了後から雷雨となってしまったため、以降</p>

<p>事務局 (スポーツ推進課)</p>	<p>の予定を延期する予定であった。</p> <p>しかし、還暦野球という性質上、仕事をしている方がおり、休暇を続けて取ることが困難であるという理由で、日程調整ができなくなったことから、9月18日(水)をもって大会は中止となった。</p> <p>結果については、ベスト4を2チーム、ベスト8を4チームとして、坂戸還暦野球クラブはベスト4まで進出している。</p> <p>(8) 第23回坂戸市民チャリティマラソンの申込者数について (資料10に沿って説明)</p> <p>令和6年11月17日(日)に開催する、第23回坂戸市民チャリティマラソンについて、令和6年8月1日(木)から令和6年9月30日(月)まで申込みを行った。</p> <p>今年度の大会については、種目は例年と同様であり、子ども駅伝、親子の部、5Kmの部、10Kmの部、3Kmの部の5種目となっているが、今年度は新たに3Kmの部に一般の部を設けた。</p> <p>新たに設けた背景としては、参加者の増加のほか、親子の部で、子どもと一緒に走った保護者の方から、「またぜひ3Kmの部で子どもと一緒に走りたい」との御意見があったことから3Kmの部に一般の部を設けた。</p> <p>昨年度1,429名を上回る1,594名の参加があった。大会まであと1ヶ月少々となったので、参加者に喜んでもらえるよう準備を進めていく。</p>
<p>事務局 (スポーツ推進課)</p>	<p>(9) 令和6年度坂戸市民体育祭等の結果について (資料11に沿って説明)</p> <p>令和6年10月6日(日)に、市内小学校9か所を会場に地区市民体育祭を予定していたが、前日からの雨により、グラウンドコンディション不良により、北坂戸地区、浅羽野地区、千代田地区が中止となった。</p> <p>昨年度も朝からの雨で、城山地区を除く8会場が中止となってしまったことから、5年間、中止となってしまった地区が出てしまったことは残念である。</p> <p>一方、開催できた地区については5年ぶりの開催で、コロナ禍により「選手集めに苦労した」ということから、対抗種目からオープン種目を増やしての開催となったが、当日、各</p>

<p>委員長</p> <p>委員</p> <p>委員長</p> <p>委員</p> <p>委員長</p>	<p>会場を体育協会の役員を巡回したところ、各会場とも盛り上がり競技していた。</p> <p>来年度は、全会場が校庭の下で実施できることを願う。</p> <p>以上の件につきまして、質疑等があればお願いしたい。</p> <p>意見なし</p> <p>続いて、その他として委員の方から報告事項があればお願いしたい。</p> <p>意見なし</p> <p>続いて、事務局よりお願いしたい。</p>
<p>事務局 (社会教育課)</p>	<p>8 その他</p> <p>(1) 入間地区社会教育委員研修会について</p> <p>9月に入間地区社会教育委員研修会の通知を皆様に送付したところ、坂戸市からは10名の参加予定となっている。10月16日(水)13時から16時まで、会場は富士見市民文化会館キラリ☆ふじみとなる。よろしくお願いしたい。</p> <p>(2) 第3回坂戸市社会教育委員会議の予定について</p> <p>今回は、令和6年11月22日(金)午後1時30分を予定している。今回は、女子栄養大学で行わせていただくこととなった。</p>
<p>委員長</p>	<p>全ての議事が終了したので、議長の任を解かせていただき、進行を事務局に戻す。</p> <p>9 答申(社会教育関係団体に対する補助金の交付について)</p> <p>(1) 令和7年度社会教育関係団体補助金交付については、適切であると認める。</p>

副委員長	<p>10 閉会</p> <p>令和7年度社会教育関係団体補助金交付について、認めていただき、ガールスカウトとして、大事に使わせていただく。</p> <p>長時間にわたり、慎重審議をしていただき、まだまだ11月は催し物が盛りだくさんである。御自愛いただくとともに、御活躍いただくことを願っている。</p> <p>第2回坂戸市社会教育委員会議を閉会する。</p>
------	--